

研究機関：広島大学

研究課題名	肝臓移植周術期患者に対する腹水濃縮還元治療の免疫学的解析
研究責任者名	広島大学大学院医歯薬保健学研究科消化器・移植外科学 教授 大段秀樹
研究期間	2018年9月3日（倫理委員会承認後）～ 2023年3月
対象者	2017年4月1日～2022年3月31日の間に難治性腹水に対して腹水濃縮還元療法を行う肝臓移植周術期患者
意義・目的	<p>本研究の目的は、難治性腹水を有する肝臓移植患者の腹水濃縮還元治療を免疫学的に解析し、治療効果を向上させることである。</p> <p>一般に、難治性腹水を有する肝硬変患者、肝移植患者の予後は不良である。大量腹水貯留は、食事摂取低下や体動困難から低栄養・筋力低下を引き起こす。また、腎血流低下に伴う腎不全が助長される。症状緩和を目的とした腹水穿刺排液は、蛋白漏出により更なる栄養状態低下が懸念される (Kawaratani H, et al. Hepatol Res, 2017; 47(2): 166)。我々は、松崎らの開発した特殊な腹水濾過濃縮装置 (KM-CART) (Matsusaki K, et al. Int J Clin Oncol, 2011; 16(4): 395) を導</p>

個人情報の保護について

情報が個人を特定する形

を条件に、研究者から業務委託された者が、あなた個人を特定できる形で診療情報を閲覧することがあります。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

#### 問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

Tel : 082-257-5222

広島大学病院未来医療センター 職名 助教 大平真裕

広島大学病院消化器・移植外科 所属 消化器・移植外科 職名 大学院生 今岡 祐輝